



No.37 2018.6.21 発行

群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<https://suirantaiikukai.com/>

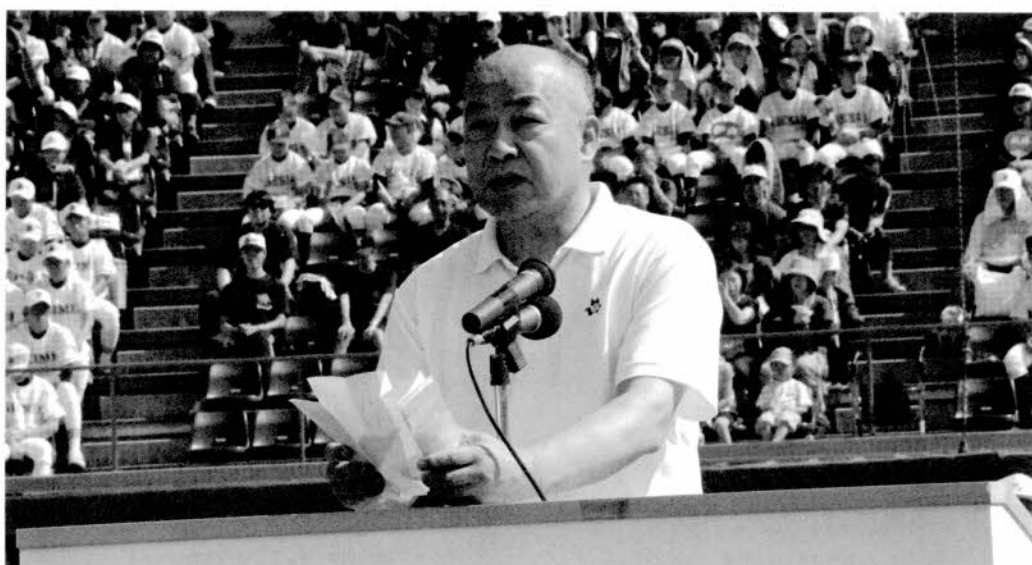
今般、翠巒体育会報の原稿執筆にあたり、高崎高校卒業生として、また、体育・スポーツに携わる者として、貴重な機会を与えていただいたことに感謝すると共に、身の引き締まる思いであります。

私は、昭和49年度入学の高崎高校76期生です。入学前の私の高高野球部のイメージは甘く、「進学校のなまぬるいものだろう?」くらいに考えていましたが、その実、質、量ともに県内屈指で、前年度県中体連優勝投手である私のプライドを木っ端微塵に打ち砕いた洗礼でした。「甲子園なんて夢のまた夢、それにまだあと2年ある」と高をくくっていた新米部員に、本多監督は、常に高いところを目指し、甘い気持ちだった私は、逡巡することしばしばでした。

私が入学した昭和49年、折しも金属バットが認可された初年度のこの夏、第56回全国高校野球選手権群馬大会において、高高は快進撃、県大会、北関東大会を勝ち進み、『あと一勝』まで迫りましたが、決勝では、甲子園でベスト4に進出した向田投手擁する前橋工業に1対8の敗戦、甲子園は夢と散りました。一年生ながら遊撃手に起用されましたが、直前の練習で右手を負傷、2試合で5三振と何もできず散々の北関東大会でした。

新チームは11人になりましたが、夏休み中の猛練習と、看板の攻撃力で、秋季大会を勝ち抜き、準々決勝桐生、準決勝関東学園、決勝は中央を破り18年ぶりの優勝を飾りました。

第27回秋季関東地区高等学校野球大会は、茨城県日立市で開催され(当時



されど甲子園、そこには高高野球部

は開催県以外に優勝校一校出場)、開幕試合の対戦相手は神奈川県代表東海大相模高校。原、津末、村中、岡部など超高校級の選手が勢揃いで、揃いのスパイクとハイネックのアンダーシャツに縦縞がマッチ、いかにも強豪のたたずまい。一方高高は、少ない人数の上、スパイクはまちまち、アンダーシャツに及んではほとんどが七分袖と晩秋の大会なのに見るからに寒そうで、試合前から圧倒された雰囲気でした。試合は序盤に大量失点、徐々に挽回、7回裏には同点に追いつきましたが、粘りもここまで、最終回に一举5点を追加され結局5対10で敗戦、またも甲子園の夢は水泡に帰しました。

二年次、三年次とかなり良いチームに仕上がっても結果は出せず、最後の夏の大会も3回戦で農大二高に0対4とその春のリベンジを許し、ついに私の甲子園は夢に終わりました。大会約一ヶ月前にまた負傷してしまった私は、チームに迷惑をかけたことが心残りでありませんでした。このことが、後に高校野球の指導者を目指す原動力になったのかもしれませんが。

高高野球部は、第53回選抜高校野球大会に出場したことで『悲運』の代名詞から卒業できました。12日間選手と同行した甲子園を今想うとき、球場練習で緊張感のため思うようにノックができなかったほどの手の震え、戦い終わった晩、田端部長先生と西宮市内某所にて肩を組み、涙しながら校歌と翠巒を熱唱したシーンが鮮明に蘇ります。

たかが甲子園、されど甲子園。密度の濃い時間を仲間と共有できた高校時代、そして卒業後も歴史的な瞬間の、その場

に居合わせることができた幸運、そこはいつも高高野球部でした。さらに「2度目はどうかかな…」と思っていた甲子園を境原監督のもと実現していただいたことはOBとして感謝に耐えられません。

私事で恐縮ですが、昨年度から群馬県高高野連の会長を拝命しました。選手として、指導者として、役員や関係者としてお世話になった連盟の責任者を仰せ付ける事を重く感じ、今日の高校野球の隆盛をさらに高めていく所存であります。昨今、群馬県の高校野球は私立高校の独壇場であり、平成26年秋季大会以降県内11大会連続決勝のカードは私立高校同士であり、何とか公立高校にも頑張ってもらいたいと願う一人でもあります。願わくは母校野球部が三たび甲子園出場を果たし、阪神甲子園球場に掲揚される校旗の元、校歌を斉唱できることを切に望む次第です。

蛇足ですが、現在個人的には高高野球部OBで構成している野球チーム「翠巒クラブ」で同窓生と「楽しい野球」に打ち込んでいます。試合後にチームメイトと酌み交わす美味しい酒、その際話題になるのは、やはり現役時代の高高野球部のエピソードばかりです。

末筆ではありますが、母校ならびに翠巒体育会のますますの隆盛、発展を陰ながらお祈りいたします。



群馬県立
前橋工業高等学校校長
県高高野連会長
高田 勉 (76期)

NOSIDE 特別寄稿

ラグビー体験授業

ラグビー部OB
相澤悦朗 (88期)

「組むは精神と知恵のスクラム」と校歌に歌われるように、ラグビーは、ある時期まで確かに高崎高校の“校技”だった。知る範囲では平成の初期まで、秋から冬の体育の授業ではもっぱらラグビーが行われ、シーズンの終わりに催されるクラス対抗の校内大会は熱気を帯び、時に負傷者が出るほどの激しい戦いが繰り広げられていた。そのせいか、部外の一般生もルールをよく知り、我々ラグビー部の試合には観戦者も多く、翌日にプレーを事細かに批評されることもあった。確かに、ラグビーは“校技”だった・・・

「なんでラグビー授業は終わっちゃった？」
「過保護に、お勉強だけのもやしを育ててどうする？」

そんな嘆きを何度、酒場で口にし耳にしたことか・・・

嘆いてたってダメでしょ。酒場の愚痴に何の意味がある。

奮起勇躍した我々OB会は、部のOBでもある大田部功翠巒体育会長に学校側への猛烈なアピールをせっつき、どんな交渉があったのかは不明ですが、昨年12月に母校での体験授業の機会をいただきました。

体験授業は1年生全員を対象に、2コマ×2回ずつ、4日間にわたって行うことがまず決まりました。「ラグビー復活」を旗印に母校に乗り込まんとする我々ですが、小中学生のコーチ経験者が数名いるものの、高校生を指導したことのある者はおらず、また、仕事の合間をぬっての計画で事前打ち合わせもままなら

ず、ほとんど手探りのぶっつけ本番の状態です。当日を迎えました。

とはいえ、授業の最終目標には「ラグビーの楽しさを知ってもらうこと」を据え、大まかな骨組みと、あわよくば部員獲得をとの目論見を携えて、延べ30数名のOBで我々にとっても初めての体験となる授業に臨みました。

冒頭には、イギリスのパブリックスクールに起源を持つラグビーの発祥の逸話や「ノーサイド」に代表されるラグビーの精神と、終戦直後、心の荒んだ当時の生徒を立ち直らせるために設けられたと伝わる高々ラグビー部の歴史を簡単に説明しました。お手伝いをいただいた体育の先生の中に、ラグビー授業が行われていた時に全生徒が身に付けていたジャージをお持ちくださった方がいらっしゃり、現役生徒に披露することも出来ました。

講釈の後は実技に。まずはボールに慣れてもらおうと、パスの要らない単純な遊びから始めました。生徒を班に分け、ボールをバトン代わりに持って走るリレーで順位を競いました。これはいたって簡単で、生徒たちは難なくこなしま



表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量/開発申請/相続/各種許可申請

土地家屋調査士 表野真拡 (ラグビー部・83期)

高崎市小八木町1416番地1

TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287

E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp



衣料一筋一世紀

本店 HONTAKA BIZ

社長 高橋哲人 ラグビー部 (89期)

(株)タカハシ本店 群馬県高崎市鞆町4-9

☎027-323-4821 FAX 027-326-3533

ホームページ <http://www.hontaka.biz/>
本タカブログ http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka_web

靴のことなら トリオ

専務 吉村 祐二 (ラグビー部・101期)

株式会社トリオ 群馬県高崎市若松町92

TEL.027-322-4192

した。次に、生徒に輪になってもらい、手渡しでボールを1周回す早さを競うというゲームを試します。小学生向けの簡単なメニューですが、慣れない楕円の球はポロポロとこぼれます。失敗も楽しみうちなのか、生徒たちの顔もだんだんほころび始めました。我々OBにもかすかに手応えが。

その後は、手渡しを近距離のパスに替え、その距離を段々と長くし、少しずつ難易度を上げていきました。現役生の飲み込みと食いつきの良さは我々の想像を上回り、サマになっている子ちらほら出てきます。1コマ目はそんな具合で終わりました。

一巡して2コマ目は講釈を省略。少しずつルールを加えてゲーム性を高めます。グラウンドに20メートル四方ほどのグリッドを設けて2班を入れ、一方はパスを自由に繋ぎ、相手の班にはパスカット

を狙わせました。ここでは、パスが10回通った班が勝ちとなります。どのメニューでも勝ち負けをつけることを、楽しんでもらうための工夫として心掛けました。

続いて、ボールを前に放ったらスローフォワード、前に落としたらノックオン、ボールを持ったら相手のいない方へ走ろうと教え、とにかくボールを運んで陣地を進める、かなりラグビーらしいゲームを試します。ディフェンスはタックルの代わりに両手でタッチすることで攻撃権を奪えることとしました。

このあたりで目立ってくるのは、他の球技の楽しみを知る生徒たちだったでしょうか。サッカー経験者と見られる者は相手を抜く技術で、バスケットボールの経験者はスペースを見つける技術でゲームを楽しみ始めます。

が、ここからラグビーの真骨頂。ボールを持ったら蹴るでもなく、地面に突

くでもなく、ただシンプルに走るのみという原始的な運び方は、他のどんな球技よりも簡単で、少々運動の苦手な子も楽しめるのがこの競技のユニークな美点です。レフリー役の我々も、時にジャッジを緩めて、チャレンジする太っちょに喝采を送ります。気づけば大人も子どもも笑顔になり、あっという間の2コマ目も終了しました。当初の目標が叶ったと思える喜びに加え、我々にとっても、懐かしいグラウンドで現役生とともに汗を流し、大声で笑い合える貴重で楽しい体験となりました。

終わりに、やや無理筋ともいえる要望にご理解をいただき、このような機会をくださった加藤校長先生、授業をサポートしてくださった体育教諭のみなさん、現役顧問の先生に心より感謝を申し上げます。



KIZUNA 吉田 高嶺(57期)
青春の山をたどるトレイル

裾野の長い赤城山が見える。まだ白いままの武尊山や谷川連峰も見える。左に目を向けると白砂山から浅間山、妙義山と少年時代から登ってきた思い出の山々。正面には遥かに霞む榛名山が見渡せた。

昨日あの山の向こうにある中之条の

我家を出て、ひとり歩いて西上州の山懐に入り込んできてしまった。ここは、みかほ森林公園の展望台である。

これから後3日間を掛けて関東最長67kmの御荷鉾林道を歩き、荒船山を越え、県境分水嶺を和美峠まで、そして廃道林道をたどり妙義・中木沢を横川駅まで下る188kmのトレイルである。

一望できたのは少年時代には父に連れられ、学生時代には友と、時には一人で登ってきた山々である。その頃は若さに任せて岩登りとピークハンターの真似事であった。大学卒業後、社会人になってからはラリーに夢中になり、悪路を求めて山道を車で走り回った。その後しばらくは山への想いは薄らぎ、子供達とスキーを楽しむ位でした。

71歳を過ぎた頃、妻のリハビリのお供で歩くことが日課になった。そして、全身を使って歩くノルディックウォーキングの魅力に取りつかれた。歩く距離、時間が増えるに従い自信が甦ってきた。今の自分にどれだけの物が残されているかを

知りたくなった。自分の足で、ノルディックウォーキングで思い出の山やまだ見たことのない里山を訪ねてみよう。古の旅人、登山者が歩んだ古道をたどってみようと思いついた。家から歩いて山郷の自然、歴史を楽しみ、峠を超えて戻ってくる。途中に山があれば山も登る。こんなトレッキングが78歳の流儀になって来ました。

しまなみ海道を尾道から今治まで一日で歩く。息子達との富士吉田駅からの富士山登山。そして富士五湖をからめ富士山を眺めながらの富士山周回の旅。霞ヶ浦を3日間で一周。家から赤城山、榛名山も二縦断。そして家から東へ、北へと川の流れに沿って本州横断576kmの一本の道を引くことが出来ました。

高高の夏合宿で法師温泉から谷川連峰を縦走してマチガ沢出合いにベースキャンプ、そして蓬峠から谷川岳へ縦走などをした思い出がある。それを思い出し、75歳の時、まず、家から歩いて法師温泉をベースに平標山へ、そして家まで息子と歩いた。翌年には家から土合まで歩

製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀲憲昭 同窓会副会長
バレーボール部OB(81期)

高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 バレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)

〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高岡町316-6
☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

き、息子と共に清水峠から肩の小屋経由で谷川連峰を縦走し元橋まで歩いた。昔歩いた逆のコース取りで懐かしかった。

今回の西上州トレイルの最後には高時代時代の悲しい思い出の裏妙義、御岳を見上げる地を通るルートに選んだ。半世紀を上回る年月が流れた今、手を合わせ静かに頭をたれて故人の冥福を祈り、旅の安全を感謝した。

それは昭和32年4月21日、新人歓迎登山で吉原重夫さんを失った出来事だった。なりたてのキャプテンであった私の責任は心の中にいつまでも重く消えることなくいた。

当時の部員にも強く残っていた。平成19年になり、その時現場に設置したレリーフ探しが始まり24年に本格化したのが難航した。記憶は薄れ、現場は大きく変化していた。十数回にも及ぶ探索の結果25年11月ようやく発見することが出来た。当時を知らない後輩の皆さんの想いが通じた。この事を通して同じ釜の飯を食べて語り継がれてきた絆を強く感じ感謝しました。翌年の春には57年ぶりの慰霊登山を行うことが出来ました。現役も加わり、29名の参加者がありました。

「山に生き、山に死し、山に甦る」レリーフに刻まれた心は絆を深め、事故のない楽しい山行を願い、誓うものでした。

私の西上州のトレイルはさらに続きま



す。横川から旧碓氷峠を超え、浅間、黒斑山を経て地蔵峠。吾妻谷を中之条の我が家まで300km越えのトレイルを目指します。

まだ暫くは美しい自然を楽しめるだろうか。



KIZUNA

堤 正史(67期)

我等の時代

山岳部というのは不思議なクラブです。他の運動系クラブと違い、競技が目的ではなく、時間を争うことも他者と勝敗を争うこともありません。最近ではスポーツクライミングや高校総体の登山部門など、一部競技化している面もありますが、本来は自分たちの技術や体力を鍛えて目標の山を登るのがクラブの目的です。

私が現役時代、初めて高校総体の予選会(?)で赤城山へ行った時の事、登っている時に前のパーティから遅れると減点されるとか、他にも色々問題があって「こんなのは山登りではない」と顧問の先生達ともども、ボートで大沼を渡って帰ってしまいました。

参加されなかった顧問の高橋信男先生は後に、高体連との間で苦勞されたと聞いていますが、顧問の先生方も我々もへそ曲がりか揃っていただけで、反省などせず当然と思っていました。時代は昭和40年代、先輩たちから引き継いだ山登りは、まだスポーツというよりはアルピニズム(より高く、より困難を目指す)の片鱗が色濃く残っている時代でしたから、上部団体の統制や指導など「糞くらえ!」という気概にあふれていました。

入学早々の新人歓迎山行で裏妙義の桶木沢に連れていかれ、大きな滝を麻ザイルを身体に結び、岩登りの基本である三点支持を教わりながら必死で登りました。6月には裏妙義ロックガーデンで岩登り訓練。続いて谷川岳ボッカ訓練。そして夏合宿の北アルプス縦走。立山から槍ヶ岳までの縦走の予定でしたが、悪天

候に阻まれ薬師岳を越えたところでやむなく下山しました。

夏休みの後半は強化合宿の谷川岳東面(マチガ沢、一の倉沢等)です。のちに高校生の岩登りは禁止となりましたが、幸い我々の時は規制が無く(あっても黙認)、先鋭的な登攀をされている先輩たちが指導に来られ、我々を一の倉沢などの大岩壁へ連れて行ってくださったのですから、今とは隔世の感があります。

当時の高合宿は二期制で秋休みがあり、休みがあると当然のように合宿です。足尾線(今の渡良瀬鉄道)の間藤駅でステーションビバーク(待合室でシュラフにもぐって宿泊)。翌日から3日間、松木沢の岩場で岩登りでした。足尾銅山の煙害で草木は枯れ、荒涼とした岩場が外国の様で逆に気に入りました。ここで見た満天の星空は今でも忘れられません。

冬はスキー合宿でしたが、民宿や旅館の庭にテントを張り、夜は雪が降るとたたき起こされテントの雪かき、朝は早くから朝食作りと大変でした。今と違って防水性の悪いテントですからシュラフも水浸し、服が濡れても着替えを持っていませんから、着たまま乾かすしかありませんでした(これを着干しと言います)。

学年最後の春休みは雪山を経験します。私の1年生春は谷川岳マチガ沢出合にテントを張りました。10日ほど前に出合まで達する雪崩があって、まだ遭難者が二人埋まっている雪の上にテントを張ったのですから、今考えるとずいぶん危ない橋を渡っていたと思います。暗くなってからテントの外へキジ打ち(トイレ)に行く時は、霧の中から遭難者が現れそうで怖かったのを覚えています。春合宿のメニューは雪上訓練や谷川岳登頂、白毛門登頂など、貧弱な装備や服装でよく登れたと感心してしまいます。白毛門の帰りには、先輩が土合橋のたもとにあった店で、ラーメンをおごってくれるのが恒例になっていて、テントの食事とは比較にならない御馳走を堪能しました。

こうして1年が過ぎ2年、そして3年の1学期まで、山登りに明け暮れた高校生活

(山岳部79期) キッチン・バス・トイレ・耐震・省エネ
地域
と
共に
50年
リフォーム工房
株式会社スカワ
代表取締役 須川 光一
ハッピーな オフロ
高崎市倉賀野町1717 ☎0120-827-026
(倉賀野駅南口・駅前通り) リフォーム スカワ 検査

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所

高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

でしたが、今思い起こすと辛かったこと、苦勞したことばかり思い出されて、楽しかったことはあまり覚えていません。同期の仲間と昔話をしてもやはり同じです。人の記憶はインパクトのあった出来事の方が鮮明に覚えているようで、今でも1年の夏合宿で、立山の室堂から一ノ越までを、横殴りの雨の中、重いザックを背負ってフラフラしながら歩いたことは鮮明に覚えています。辛い記憶はいつしか楽しい記憶に変わっていくのが不思議です。

山登りは思い出作りとも言えます。現役諸君には良い思い出(辛い思い出)を沢山作って頂きたいと願っています。



KIZUNA 清水 崇史(114期)

卒業後も生きる経験

在学当時を振り返ると、入部して間もなく右も左もわからぬまま出場した高校総体が思い出されます。買ったばかりの重い革靴による靴ずれ、鍋で炊いた少し芯のあるご飯、寒く狭いテントでの生活などが辛い経験として強く印象に残っています。当時は登山とはこんなにも辛いものかと思いましたが、数日経つとまた登りたくなるのが山の不思議なところでした。

その後も色々な山を登りました。県内各地の山々はもちろん、夏休みには北アルプスの縦走、高校総体の関東大会では房総半島や箱根の山に登ることもありました。2年あまりの活動を通して、靴は足に馴染み、ご飯はうまく炊けるようになり、テント生活にも慣れ、仲間との絆もより一層深まりました。

最後の高校総体では順位こそ振るいませんでしたが、その準備として何度もルートの下見に行ったこと、放課後に公園でテントを張る練習をしたこと、部室で野鳥や植物の名前を覚えたことなど、全力で取り組んだ良い思い出となりました。OBの方々との慰霊登山では、60年ほど前に新人歓迎登山中の事故でお亡

くなりました先輩を追悼し、登山の危険性を再確認するとともに、大切な仲間を失わぬよう安全に登山することを心に誓いました。

高崎高校を卒業して3年、私は現在も大学のサークルで登山を続けています。サークルには大学から登山を始める人が多いため、登山靴の履き方、米の炊き方、テントでの過ごし方など、様々なことを教えるにつき高高山岳部での経験が大いに役立っています。度々大学生の登山事故がニュースになりますが、そのようなことを起こさぬよう努めていきたいと思っています。

また、高高山岳部の仲間と登山をす

ることもあります。文字通り、同じ釜の飯を食べた仲間と登る山は格別感じます。自分たちで自由な計画を立てるのが登山の醍醐味だと思うようになりましたが、反面、交通手段を考えたり装備を自前で揃えたりするには苦勞が強いられるとも感じています。在学中に先生方がくださった登山の企画やバスの手配、OBの方々が寄贈してくださった装備のおかげで、私達は容易に登山ができたことに遅ればせながら気づきました。お世話になった方々に改めて感謝申し上げたいと思います。私もOBの一員として、在学生のために何かお手伝いできれば幸いです。



RASE°ライズ総合保険

MS&AD あいおいニッセイ同和損保 総代理店
TOUGH SHOP ぐんま中央
 代表取締役 富田 和弘 (応援部 85期)
 武山 雄海 (パレー部 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



ホームページ、WEBシステムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503号
 TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667
 URL: http://www.g-s-d.net mail: h_sato@g-s-d.net

でてこい 未来のリーダーたち、
 四谷大塚 NET

CEBU流学

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)

2017事業報告

2017年4月 6日

○第1回役員会議

4月11日

○第1回編集会議

5月23日

○関東大会出場の部へ祝金

柔道部、相撲部、陸上競技部、ソフトテニス部
水泳部

6月 6日

○第2回編集会議

6月 8日

○監査役会

6月15日

○第2回役員会議

6月20日

○第43回定期総会・懇親会

○翠巒体育第36号発行

7月27日

○インターハイ出場の部へ祝金

水泳部

8月28日

○ゴルフ大会役員会議

8月29日

○第1回WFK

9月10日

○第27回ゴルフ大会

11月 7日

○第3回役員会議

11月16日

○高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

12月 7日

○活性化忘年会

2018年3月 1日

○高崎高校卒業式



●役員会議(2017.4.6)

第43回定期総会・懇親会

柔道部／伊藤 俊一郎(92期)

翠巒体育会の第43回定期総会及び懇親会が、平成29年6月20日(火)高崎ビューホテルにて開催されました。

大田部功会長からの挨拶では、会長2年任期の2年目を終えた感想などが述べられました。続いて議長選出後、平成28年度事業報告、会計報告、監査報告が行われ、承認。続く新役員選出では、大田部会長が引き続き会長を務めるなどの新役員案を承認。その後、平成29年度事業計画案、予算案が承認されました。会議の終盤にて國峯善次郎顧問より、若い人が元気づくよう応援せよとの言葉をいただきました。会議進行が想定よりも時間を要し、議事終了後に予定されていた報告事項を後に行われる懇親会内にて行うという変更があったものの、全体として無事定期総会が終了しました。

引き続き行われた懇親会では、大田部功会長、加藤聡校長、串田紀之同窓会長、富岡賢治高崎市長、高田勉群馬県高等学校野球連盟会長から挨拶をいただき、高橋浩生顧問の乾杯の発声により和やかに始まりました。会の中では各運動部の活動報告やOB会の近況報告があり、写真撮影なども行われ大いに盛り上がりました。また、第24回高高同窓会ゴルフコンペ(幹事81期)、第116回高中・高高同窓会(幹事87期)への参加呼びかけなどが行われました。

最後に応援部のリードにより全員で翠巒の合唱を行い、先の定期総会で新役員として承認された波多野重雄監査役の挨拶を以って、無事終了しました。

第1回WFK(若手を増やす会)

硬式野球部／戸澤 健(92期)

昨年の8月29日(火)、翠巒体育会の新

事業である「WFK」(若手を増やす会)の記念すべき第一回が、77期の先輩方から112期の若手まで、11部活・総勢45名の参加のもと開催されました。我々野球部は85期の清水威先輩をはじめ112期の若手まで、総勢10名で参加させて頂きました。この新事業は、その名の通り若手を増やすことを目的とされています。何期からが若手なのかは判断の難しいところではありますが、参加者の内訳は99期までが25名、100期以降が20名でした。

会は大田部会長の乾杯で始まり、終始賑やかな会となりました。翠巒体育会の集まりに初めて参加をした若手も多かったようですが、近い年代の若手が多かったためか(特に111期+112期で10人)、とても活気のある会でした。このような会をきっかけに、各部でのOB会の活動を更に活発なものにしていただき、結果として翠巒体育会が活性化していく事が出来ればよいのかなと思います。

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、
趣味のお集まり等に...

創意魚件

取締役社長 羽鳥修司(卓球部・63期)
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428
FAX 027-326-7070

株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII 4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

株式会社 大陸不動産

代表取締役 山口正敏

(卓球部・58期)
高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031



●第43回 定期総会・懇親会



●第43回 定期総会・懇親会



●会報誌編集会議(2017.6.6)



●第43回 定期総会・懇親会



●インターハイ出場の部へ祝金贈呈

最後になりましたが、この会の企画・運営をして頂いた皆様、大変ありがとうございました。

第8回活性化忘年会

剣道部/角岡 大悟(96期)

本年も翠巒体育会活性化忘年会が平成29年12月7日(木)、ホワイトイン高崎にて開催されました。翠巒体育会の1年の活動の慰労と、会員の裾野を広げるとい趣旨で開催されているこの会も第8回を迎えました。

私は4回ほど参加させていただいておりますが、年々若手の参加者が増えて印象を受けています。初めての参加は先輩に誘われ返事をしたもののあまり気が進まず不安と緊張の中、割烹「魚とし」の扉を開けた記憶が残っています。しかし、他の部の先輩方との話も弾み帰りにはまた参加したいと思うよう

なっていました。

この会に誘ってくださった先輩にはとても感謝しています。そういった思いで毎年、同級生や後輩を誘っています。現役時代の話、仕事の話、プライベートの話など様々なことを語り合え、縦の繋がりが横の繋がりに広がる事ができる、そんな場が翠巒体育会活性化忘年会です。

この会の更なる発展を祈念して報告とさせていただきます。

第27回ゴルフ大会 団体戦優勝

硬式野球部/伊原 大介(94期)

94期卒、硬式野球部OBの伊原大介です。9月10日、気温30度を超す厳しい残暑の中、翠巒体育会ゴルフ大会に初めて参加させて頂きました。

満40歳を迎え、壮年軟式野球チーム「翠巒クラブ」に入団したことをきっか

けに、チームの先輩方からお誘いを受け、参加する運びとなりました。野球での貢献度はイマイチではありますが、ゴルフでは何とか皆様の力になれると思い、練習量を増やして当日に臨みました。その結果、団体戦優勝を勝ち取ることができ、またスコアでも貢献することができたこと、大変嬉しく思っております。

正直なところ、部対抗ということで多少ピリピリした雰囲気があるかと身構えていたのですが、全くそんなことはなく、終始和やかなムードの中、楽しくプレーすることができました。それも同伴競技者の先輩方(大田部会長、井野さん)のお陰であると、この場を借りて御礼申し上げます。また、お二方のプレーを拝見していて、体力の差を感じることなく、むしろドライバーの飛距離では少しミスしただけで20~30ヤード離されることもあり、学生時代に鍛えた体力をしっかりと維持していることに感銘を

カーエレクトロニクス グッズ&サービス
群馬電装株式会社
 本部・サービス部:高崎市江木町117
 TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
 代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社
 前橋市石倉町 2-6-5
 TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
 代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

金井勉社会保険労務士オフィス
 社会保険労務士 **金井 勉**
 (剣道部 66期)
 〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1
TEL.044-948-6591
 E-mail kanai7@world.ocn.ne.jp



●第1回 WFK(若手を増やす会)



●第8回 活性化忘年会



●関東大会出場の部へ祝金贈呈



●高崎高校マラソン大会



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

受けました。

今後も本ゴルフ大会に参加して、多くの同窓生の方々と交流を深めていければと思います。

第27回ゴルフ大会 個人優勝

卓球部/橋爪 洋介(85期)

第27回翠巒体育会ゴルフ大会において個人優勝させていただきました85期卓球部の橋爪洋介です。現在、卓球部OB会長を務めさせていただいております。思えば高校2年生の頃、自宅近所の練習場で初めてクラブを握りました。

大学時代は体育会ゴルフ部に所属しておりました。1年秋の関東学生ゴルフ連盟リーグ戦が群馬県の鳳凰カントリークラブで開催され出場したことが昨日のこのようであり、時の流れの速さを感じるとともに、ゴルフというスポーツが生涯にわたり楽しみ、交友関係を広

げる素晴らしいものであると実感しています。今回も一年ぶりにゴルフを通じて同窓の皆様、先輩後輩と交流を深めさせていただきました。

卓球部は諸先輩方の奮闘もあり、数年前までは団体戦での上位常連でありましたが、近年は中々に難しい状況であります。来年は何とか上位に進出できるように頑張りたいと思います。開催コースであるサンコー72カントリークラブ様はゴルフを始めた頃から慣れ親しんだゴルフ場ではありますが、最近ではジュニア競技等にも力を注がれており、お蔭様で素晴らしいコースコンディションの中で、最高の仲間たちとプレーを存分に楽しめる一日でありました。

開催にご尽力賜りました翠巒体育会役員、その他関係する多くの皆様方に心より感謝いたします。結びに翠巒体育会、高崎高等学校の今後一層の発展をご祈念申し上げます。

第27回ゴルフ大会結果

●団体戦

順位	運動部名	合計(穴込)	HCP	ネット
1	硬式野球	329	30.0	299.0
2	応援	342	45.6	296.4
3	陸上競技	343	39.6	303.4
4	サッカー	351	45.6	305.4
5	ソフトテニス	355	50.4	304.6
6	ラグビー	359	49.2	309.8
7	バスケットボール	360	48.0	312.0
8	山岳	362	58.8	303.2
9	剣道	365	60.0	305.0
10	柔道	378	73.2	304.8

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス	HCP	ネット
1	橋爪洋介(卓)	37	45	82	10.8	71.2
2	堀越 勝(野)	38	36	74	2.4	71.6
3	廣瀬光成(経)	35	36	71	+1.2	72.2
4	宇佐美隆(山)	43	39	82	9.6	72.4
5	岩崎 聡(応)	42	43	85	12.0	73.0

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス
1	廣瀬光成(ソフトテニス)	35	36	71



整形外科
ワイズクリニック
■ 整形外科 ■ リウマチ科 ■ リハビリテーション科
院長 **吉田 和人** (サッカー部 81期)
URL <http://www14.plala.or.jp/ysc>

診察時間	午前	午後
月～金	9:00～12:30	3:30～7:00
土	9:00～12:00	1:30～4:30

●休診日:木曜・日曜・祝祭日
〒370-0015 高崎市島野町1038-1
TEL: 027-353-0550



●第8回 活性化忘年会



●第27回 翠巒体育会ゴルフ大会



●ゴルフ大会 団体優勝の硬式野球部OB会



●ゴルフ大会 個人優勝の橋爪氏



●ゴルフ大会 ベスグロの廣瀬氏

29年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

科目	金額	摘要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	357,000	15部
親睦会収入	305,000	平成29年6月20日 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	317,100	平成29年9月10日 サンヨー72カントリークラブ
活性化忘年会収入	280,000	平成29年12月7日 ホワイトイン
雑収入	346,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受取利息	7	群馬銀行
(当期収入合計)	(2,280,107)	
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	836,564	
収入の部合計	3,116,671	

科目	金額	摘要
支出の部		
総会・親睦会費	446,620	平成29年6月20日 高崎ビューホテル
現役等補助金	176,000	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会
会報発行費	426,060	「翠巒体育」第36号
ゴルフ大会費	226,780	平成29年9月10日 サンヨー72カントリークラブ
活性化忘年会費	336,000	平成29年12月7日 ホワイトイン
W.F.K (若手を増やす会)	248,400	平成29年8月29日 レイオパースチャーチ
慶弔見舞金	32,400	串田家 坂本家
事務用品・通信費	31,700	備品等
会議運営費	273,566	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	2,160	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,199,686)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,199,686	
(収支差額)	(80,421)	(当期収入合計) -(当期支出合計)
次期繰越収支差額	916,985	収入の部合計 -支出の部合計

財産目録

平成30年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
現金	75,314	現金手許有高
預金	841,671	群馬銀行高崎栄町 (普)0783238 一般会計分
正味財産	916,985	

特別会計

平成30年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
普通預金	801,501	群馬銀行高崎西 (普)0593363 特別会計分
正味財産	801,501	

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願いします。

群馬銀行 高崎栄町支店
普通預金0783238
スイランタイクカイ カイケイ シミズ ハジメ
翠巒体育会 会計 清水元

サンエス工業株式会社
 代表取締役 清水 威 (硬式野球部・85期)
 本社 高崎市下室田町1159-2 TEL.027-340-1581
 高崎工場 高崎市町屋町710 FAX.027-340-1591

創業明治11年
 総合建設業・一級建築士事務所
 製材・プレカット・アスウッド
 ISO-9001 認証取得
株式会社 研屋
 専務取締役 清水 正郎 (硬式野球部・75期)
 本社/高崎市飯塚町805 TEL.027-361-5095

硬式野球部OB ハワイウォーター
小林 均 (77期)
 有限会社 小金
 〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
 TEL.027-325-4411(代) FAX.027-325-4445

特別寄稿

思いつくままにII



群馬県立高崎高等学校
校長 加藤 聡 (78期)

同窓生の皆様、本校校長になり2年目を迎えました。本年度もよろしくお願ひ申し上げます

さて、今年の新入生は、例年より運動部に入った生徒が多く(174名<60.4%> 昨年比↑9.0%)、学校全体として大いに喜ばしく思っています。

と申しますのも、生徒がそれぞれの部で活躍してほしいということに加えて、高次の運動部活動を通して、勉強との両立を追い求めながら自分なりに少しでも多くのことを吸収してほしいと思うからです。

せっかく入部したからには、ぜひ3年間継続して、各運動部活動で、何事にも代えがたい経験をしてほしいと思います。

さて、昨年度は「思いつくままに」という題で、主に自己紹介をさせていただきました。今年度は「思いつくままにII」として、私が尊敬するプロ野球の監督について書きたいと思ひます。

というのは、小さい頃からプロ野球が好きで、テレビ観戦を楽しんだり、記事や関連する本を読み続けてきたからです。

現役も含め「最も気になる監督は?」と聞かれれば、私は広岡達朗氏を挙げます。「他には?」となれば、故西本幸雄氏、故川上哲治氏の2名を挙げます。

広岡達朗氏を筆頭に挙げた理由をひと言で言えば、「こうすれば、こうなる」という強い信念を持ち、コーチに的確な指示を出し、選手を動かしてきた監督だからということになります。

広岡氏はヤクルトスワローズの監督を約4年(1976途中~79途中)、西武ライオンズの監督を4年(1982~85)務めました。

ヤクルトでは、1978年にセリーグで優

勝して、阪急ブレーブスを破り日本一になりました。そして、西武では4年間のうち3回優勝して、2回日本一になりました。

氏の著書の中で特に私の印象に残ったことをまとめると、以下の7項目になります。

- 「選手は必ず育つ」という信念を持ち続け、下手な選手に対しても粘り強く指導をしてきた。
- 「こうすれば間違いなく上達する」という方法を持って段階を追って指導をしてきた。
- 選手に自分自身で成長したいという気持ちを持たせるように努めた。
- 常に「基本」に立ち返った。
- 徹底的に選手を鍛え上げた。
- 「シーズンをトータルして考え、無理な起用はしない」という戦略を持ち続けた。
- 投手、打撃、守備等各担当コーチに任せるべきところは任せた。ただし、監督自身も各分野に精通した上で、コーチと議論をしながら選手を育てた。

広岡氏の采配ぶりは、しばしば「管理野球」と評され、批判もされました。いわく、自然食をすすめたり、門限を厳格に守らせるなど、野球の技術指導以外の部分まで干渉する。選手のミスに厳しく、選手を萎縮させてしまう...

また、ヤクルトと西武の退団は、フロントとの関係の悪化が主たる原因でした。

上記の管理野球という批判には、私は与しません。広岡氏はチームの優勝という最終目的のために、やるべきことを押し進めたと考えるからです。

また、退団の原因については、何事も妥協を嫌う広岡氏ならありがちなことだ

と思います。球団のフロントはその上手を行って、使いこなすべきであったと思います。

さて、広岡氏以外の2名についても簡単に触れます(分量の関係もあり、両氏の略歴は省略します)。

西本幸雄氏に惹かれるのは、尽きせぬ情熱と無骨さです。氏は弱小チーム(阪急及び近鉄)を時間をかけて鍛えあげて優勝に導きました。口べたでしたが気持ちは選手に伝わり、生涯にわたり多くの選手から慕われ続けました。

川上哲治氏に惹かれるのは、勝利に徹し続けた点です。多くの批判にさらされながら、ありとあらゆることを考え、実践して、巨人の日本一9連覇という金字塔を打ち立てました。

さて、本校の各運動部の顧問も日々生徒とともに汗をかき、自分自身の精進を心がけています。

全職員の念頭にあることは、生徒が「高崎高校へ来てよかった」、また、保護者の方々が「高崎高校へ行かせてよかった」と心底から思える学校にすることに尽きます。

会員の皆様には、これまでと同様に、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

TOCSPI

翠巒体育会のホームページが、下記URLに変わり、リニューアルオープンしました。

<https://suirantaiikukai.com/>



株式会社広田住宅センター

高崎市田町38(群馬銀行高崎田町支店隣)

TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

代表取締役 広田 金次郎 (柔道部 95期)

高崎駅西口
木屋駐車場

TEL 027-322-5712

〒370-0052 高崎市旭町128

鳥居 吉二 (柔道部 73期)

OB 各運動部OB会の近況報告



陸上競技部

茂原 賢三
(89期)

平成29年6月に開催された日本陸上競技選手権女子400mにおいて本県出身、新島学園高校卒業、現在中央大学3年生の岩田優奈さんが見事優勝を果たしました。岩田優奈さんは、元翠巒体育会会長であり、現在顧問でいらっしゃる53期岩田武雄先輩(バスケットボール部)のお孫さんであります。また新島学園高校では、81期中村信勝氏(陸上競技部)が指導にあたってきました。さらに現在中央大学女子陸上競技部は、平成16年度まで高崎高校陸上競技部で顧問として指導されてきた高橋賢作先生が、監督を務めていらっしゃいます。したがって、今回の岩田優奈さんの快挙には、翠巒体育会が少なからず寄与しており、同時に翠巒体育会全体にとっての慶事であると言えないでしょうか。今後の岩田優奈さんの御活躍をますます期待したいと思います。

さて、陸上競技部OB会は平成30年度に役員の変更をすることになっています。本OB会は例年7月高崎市内にて総会ならびに懇親会を開催しており、この総会にて新執行部が承認されて新しい体制のスタートを切ることになっています。この役員改選では、80期後半以降のOBを中心とする執行部体制になることが見込まれています。若手OBの積極的な参加が、本会全体の活性化につながると考えられます。この役員改選を機に、特に80期後半以降の若手OBの、本会の活動への参加をぜひよろしくお願いいたします。



スキースケート部

寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。まず、現役生、父兄の皆様、都道府県対抗のショートトラックスピードスケート競技会における、500mの2位、3000m、3位という大活躍、そしてスキースケートの関東大会出場、おめでとございます。

スキースケート部OB会の昨年度の活動としましては、まず十一月十一日(土曜日)、OB総会、そして懇親会を高崎市内、割烹多喜にて行いました。二十名のOBが参加し懇親を深めました。

また十二月二十五日~二十七日、水上ノルンスキー場にて現役生支援のスキー合宿を開きました。72期でプロスキーヤーの角皆優人さんをコーチに招き、現役生の強化につながってくれたものと思います。

ウィンタースポーツ、特にスキーは物質的な負担も多く、いろいろ大変な部分もあると思います。

スキースケート部OB会としましては、そうした部分を少しでもカバーし、現役生が安心して競技に打ち込める環境をととのえることに、力を注いでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



水泳部

新藤 洋一
(81期)

○現役生激励会：8月1日、毎年恒例の県高校総体当日の夜、高崎駅近くの焼き肉店にて現役生の激励会を行いました。現役生16名をOB9名でもてなしました。例年と違うのは、現役生の優秀な成績で、翌日には写真入りで上毛新聞を飾りました。男子400mメドレーリレーで、37年ぶりの優勝を勝ち取りました。そのほか200m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎで優勝。400mリレー、800mリレー、100m自由形が2位。50m自由形3位。総合得点92点で男子総合第3位という堂々たる成績です。37年ぶりというのは、どうやら私たち81期と先輩である80期が組んで優勝して以来ということらしいのですが、そのときの泳者に尋ねてみても「覚えていない」ということで、脳みそも定年に近づいていると実感した次第です。

○新年会：こちらも恒例の年1回の新年会。66期から82期までのOB15名と、顧問丸山先生(68期ソフトテニス部OB)を迎えての懇親会。激励会には100期台のOBが来てくれましたが、新年会はスライド式高齢化の会で、退職や余暇の過ごし方、子供の結婚などの話題が中心となりました。

新年会には若手OBの参加を募集しています。参加希望者は



内科・皮膚科・泌尿器科・外科
いわい中央クリニック

院長 神保 裕之 (スキースケート部83期)

診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

安中市岩井2465-1 ☎027-381-2201 電話予約可



産科婦人科 佐藤病院
館出張

院長 佐藤 雄一

スキースケート部OB(86期)

〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/



沼野クリニック

内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)

院長 沼野 藤雅 (スキースケート部89期)

診療時間：AM9:00~12:30 PM3:30~6:30
休診日：日曜・祝日 皮膚科、美容外来は木曜のみ診察
高崎市柳川町15番地 ☎027-322-2926

78期須藤聡さん(同窓会名簿の自宅連絡先)までご連絡をお願いします。



37年ぶり 高崎優勝
男子400メートルXトレリー
男子400メートルXトレリーで高崎が37年ぶりに優勝。全員が出場するインターハイへ向けて弾みがついた。

男子400メートルXトレリーで37年ぶりの優勝を果たした高崎の左から三浦増田、中島、須田、増田亮が関東大会での反省から、肘をしつかり上げてスピードに乗り1位をキープした。

第3泳者の中島悠太はわずか1週間の短い練習期間で臨み、バタフライの実力者に抜かれ順位を一つ下げたが、アンカー須田大輝部長が自由形で逆転優勝をつかんだ。久しぶりの優勝と知らされた「感慨深い」と須田部長ら4人は喜びをかみしめた。

三浦は背泳ぎ、ほかの3人は400メートルXトレリーでインターハイに出場する。本番でも躍動するつもりだ。

「上毛新聞 2017年8月2日掲載」



応援部
武藤 靖秀 (106期)

我々応援部OB会は、現役応援部の活動を盛り立てるため、合宿・定例リーダー公開祭・四校合同実践リーダー公開に同行するなどし

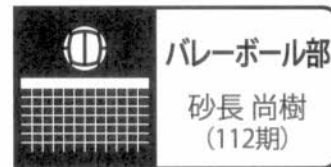
て、定期的に各種支援をおこなってきました。特に平成29年度は四校リーダー公開祭における幹事校を務め、高崎市市民文化会館において初の高崎開催を実施しました。他校幹事によっておこなわれてきました過年度までと比べ、より大規模かつ盛況な公開祭とすることができました。お力添えいただきました皆様方におかれましては、誠にありがとうございます。

さて、前年度は新入部員を獲得することができず、今春まで二年生だけの活動となってしまっていました。現役生の部活に賭ける意欲は熱く、また年々活動の充実が達成されているだけに、大変残念に思っていました。ですが本年度は、OB会がいっそう力を入れて部員勧誘活動に助力した甲斐あってか、5名の新入



部員が新しく我々の伝統に名を連ねることとなりました。これで部員は計11名となります。かつての大所帯を思い返すと、多いとはいいがたい人数ですが、おそらく14年振りとなる二桁部員数には、胸が熱くなる思いです。

各種部活動応援におきましても、部員数が十分でないために満足のいく応援が実現できず、これまではずいぶんと悔しい思いをしてまいりました。そうした中でOB会としてできるかぎりの支援をし、現役生による応援活動を盛り立ててきましたが、本年度はよりいっそうの応援活動をおこなっていく所存です。ぜひとも翠巒祭や四校リーダー公開祭、そして各種運動部応援活動の機会には、いままさに躍進の応援部現役生らとともに、声援を響かせていただけたらと思っております。



バレーボール部
砂長 尚樹 (112期)

バレーボール部OBチームである翠巒クラブは、例年、県内の大きな大会である、全日本クラブカップ選手権群馬県予選会(5月)、天皇杯群馬県予選会(7月)に出場しております。昨年はこちらの大会も、決勝で宿敵群馬クラブに敗れ、準優勝という結果に終わりました。大変悔しい思いをいたしました。群馬代表として出場した関東クラブカップ選手権大会(7月)では、3位という成績を残すことができました。また12月に埼玉県で行われた並木杯では、普段対戦することのない県外の強敵と対戦し、高いレベルのバレーを経験することができました。

毎週の練習では、経験豊富な30代メンバーの元、20代前半のメンバーが中心となり、活気のある雰囲気練習をしています。全国大会出場という目標に向かって、引き続き積極的な活動を続けて参ります。また、新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会が平成30年1月3日に開催されました。今年の新年会も多数の若手が参加し、近況報告、息子のバンドの宣伝、娘の婚約者探しなど、話題の絶えない賑わいのある会になりました。OB一同、バレーボール部顧問である柴山俊広先生(103期)と協力し合い、今後も現役生の支援を続けていくとともに、OB会の活躍の場を拡げていく所存です。



バレー部平成29年天皇杯群馬県予選会

毎週の練習では、経験豊富な30代メンバーの元、20代前半のメンバーが中心となり、活気のある雰囲気練習をしています。全国大会出場という目標に向かって、引き続き積極的な活動を続けて参ります。また、新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会が平成30年1月3日に開催されました。今年の新年会も多数の若手が参加し、近況報告、息子のバンドの宣伝、娘の婚約者探しなど、話題の絶えない賑わいのある会になりました。OB一同、バレーボール部顧問である柴山俊広先生(103期)と協力し合い、今後も現役生の支援を続けていくとともに、OB会の活躍の場を拡げていく所存です。

群馬セラミックス株式会社
取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市上塚1713-2
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
http://www.guncera.co.jp/

株式会社山岸製作所
薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート
専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 Tel.027-360-4100
八幡工場 高崎市剣崎町21-1 Tel.027-387-0505

総合探偵社 シークレットジャパン 群馬
群馬県公安委員会 証明書番号第42170018号
<https://secretjapan-g.com>
身辺・信用等の行動調査及び民事の被害対策など...
代表 松井 高志 (水泳部 81期)

〒370-0824 群馬県高崎市田町74-3 PALACE TAKASAKI 4F
☎0800-700-4869 E-mail: info@secretjapan-g.com



ラグビー部

芳賀 弘幸
(81期)

翠巒体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっています。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のため様々な活動を行っ

ています。

高崎高校ラグビー部OB会として、最も歴史の深い活動として、毎年1月に行われるOB戦があります。『現役激励』の目的で、絶えることなく続いていて、今年も、たくさんの参加者が集まりました。試合観戦だけのOBはグラウンドで現役に檄をとばし、OB戦目的で集まってきた卒業したての若手から、年配のOBまでが、試合を通して、現役ラグビー部員にラグビーの厳しさ、楽しさを体を通して伝えました。

次に、大きな活動として、「高々ラグビー祭」があります。今回で11年目を迎えたこの行事は、前ラグビー部OB会長の内田さんが、様々な世代で楽しめるラグビーを広めるために始められたOB会行事です。今年は3月24日に行いました。高々ラグビー部OB会の行事ではありますが、高々ラグビー部関係者に関わらず、ラグビー好きが集まり、ラグビーを楽しむ、まさに「祭」です。現役も含め、参加者全員が楽しめるように試合を組み、その後、BBQ大会、ビンゴ大会、オークションを行います。オークションには、諸先輩方や関係各位から多大な景品の寄付をいただき、例年のことながら大変盛り上がりました。現役保護者の作ってくれるトン汁も名物料理をなってきました。毎年ありがとうございます。この行事の中で、卒業生を参加者に紹介する企画があります。若者の熱い思いを聞かせていただき、自分も高校生時代の熱い思いを懐かしく思い出すひとときでもありました。卒業生には、高々ラグビー部で3年間過ごしたことに誇りと自信を持ってほしいと思います。

さて、今年度、高崎高校ラグビー部OB会として新たな活動がありました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい冬のラグビーの授業ですが、しばらく行われていませんでした。しかし、昨年12月ラグビー部OB会主催で1年生にラグビーの授業を行いました。詳しくは本会報に88期相澤君が寄稿していますのでそちらをご覧ください。

高々ラグビー部がさらに発展してくれるよう、春の関東大会、夏



の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたくと思っています。



山岳部

吉井 章一
(78期)

最近の現役生とOB会の交流は、登山用品の寄付、夏合宿への差し入れ、そして合同山行などが行われております。

一昨年はザックの寄付という形で協力をさせていただきましたが、OB会の予算に限りがあり昨年は大きな備品関連での寄付はできませんでした。一方、夏合宿が一番メインの行事となるため、差し入れという形で応援することとなりました。

翠巒祭での現役生との交換会も、毎年行われており現在の部活動の内容など、昔の活動内容と大きく変わっていることを実感しております。又、現役生の総体での成績は、近年目覚ましいものがあり、いつの日か優勝という結果をもたらしてくれることを期待しております。

近頃はOB会員自身も、再び山にチャレンジしている方が増えてきております。昨年は「第10回OB会山行」として長野県の八方池への登山を計画しました。若い頃の山登りとは別な目標を持ち、マイペースで楽しむことができるのが山登りの醍醐味かと思われます。

また、今年は3年ぶりの総会の開催の年となっており、久しぶりに旧交を温めることになるはずす。

以上の内容については山岳部OB会のホームページにて写真付きで紹介させていただいております。翠巒体育会のホームページよりリンクできますので是非ご覧になっていただきたいと思います。



ソフトテニス部

田口 恵一
(74期)

毎年恒例となっています現役とOBとの親善テニス試合が平成29年9月24日(日曜日)晴天のもと高々テニスコートにて、開催しました。

現役1・2年生17名とOB14名で対戦しました。57期小川清先輩は柏市から来ていただき、現役生と熱戦を繰り広げていました。57期飯塚慶三先輩と74期の私は応援のみでしたが、小川先輩の元気な姿を見ていると、私も還暦を過ぎた仲間とソフトテニスを再開したくなりました。68期丸山先輩、75期石田君、は無理せず戦い、79期大竹君、92期須藤君は、往年の実力を発揮し現役生と戦いました。103期から116期若手OB7名は切れのよいプレーをしていました。

親善試合終了後、昨年と同様に萬嵐にて現役生と中華料理を食べながら親交を深めました。高崎市ソフトテニス連盟会長55期峯先輩、63期大沢先輩・下山先輩が懇親会から参加しました。現役生からは将来の抱負を聞き、OBは現役生に昔の自慢話

地酒・ワイン
やぶかざり酒造

有限会社 仲沢酒店
仲澤 賢一 (バスケットボール部 第86期)

高崎市八千代町1-12-4 (和田橋通り)
電話 027-323-1621
FAX 027-326-2141

(株)日本WJL協会認定 シニアWJL
(株)日本WJL協会 群馬支部支部長
ホームページ
http://www.asakaka.com

株式会社 塚本工務店

塚本 浩史 (バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1 TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

を語りました。

103期事務局の小林優介君が高崎に戻ってきて、定期的にソフトテニスをしています。ソフトテニスから遠のいたOBは、是非小林君に指導していただき、高高テニスコートでOB会の親善試合に参加していただきたいと思います。



2017年9月 現役とOBとの親善テニス試合



テニス部
北村 真行
(85期)

テニス部OB会の活動は、毎夏お盆に行く母校コートをお借りしてのOB対現役生テニス大会、同日夜の総会・懇親会を中心に、また

在郷OBテニスチームによる高崎市クラブ親善テニス大会への参加等で交流を深めています。昨年夏の総会におきまして、永らくOB会長を務めていただいた小池先輩(80期)より林先輩(81期)へと会長のバトンが移されました。林先輩はかつて同好会であったテニス部を、県高校総体個人戦シングル優勝という快挙によって部昇格へと導いたという黎明期のレジェンドでもあります。今後は林新会長を中心にOB会のさらなる発展を目指して行きたいと思います。折しも前号でも報告いたしましたが今年度は同好会発足より数えて40周年の節目となります。今夏の総会では40周年記念行事へ向けての具体的な打ち合わせを行う予定です。同時に虫食い状態の会員名簿(92期～109期がほとんどわからない状態…)を充溢させることも優先課題であります。翠巒体育会事業として今回刷新される翠巒体育会のホームページに便乗するかたちでテニス部OB会ホームページも充実も計り、OB会の存在を知らない方々への周知の一助としたいところです。いずれにしろ40周年記念に向けて、諸部諸兄のお力を借りることもあるかもしれませんが、今後ともテニス部OB会をよろしくお願いいたします。



平成29年8月12(土)OBテニス大会 高崎高校テニスコートにて



サッカー部
根岸 強
(87期)

我々OB活動の主な目的は、現役選手への支援を第一に考え活動しております。また、卒業後にサッカーができる環境を整え各年代において群馬リーグに参加しております。

今年1月2日には、サッカー部70周年記念行事として、現在横浜Fマリノスで現役選手として活躍している中町公祐選手を迎え、翠巒会館にて講演会が開催されました。

講演内容は、「サッカー×人間力」をテーマに行われました。現役のJリーガーの生の声を聞かさせていただける数少ない機会であり、現役選手及び我々OBにとって大変有意義な時間を過ごさせていただきました。特に現役選手の今後のサッカー人生において大変参考になったと思います。

県内は、今年の全国高校サッカー選手権で全国優勝した前橋育英高校を筆頭に強豪校がひしめいており、勝ち抜くことは簡単ではないと思いますが、良い戦ができることを期待しております。

OBチームの活動は、20代、30代で構成されている翠巒クラブが、今年度から念願であった2部昇格を果たしました。久しぶりの2部復帰であり、まずは2部残留を目標に頑張っております。

試合日程、試合結果については、群馬県サッカー協会のホームページに掲載されますので、閲覧をお願いします。機会があれば、試合会場に足を運んでいただければ幸いです。



中町公祐講演会集合写真(平成30年1月2日)



柔道部
伊藤 俊一郎
(92期)

柔道部OB会の活動としては、本年も1月3日に高崎高校の柔道場にて現役・OBにて行われる初稽古、及び会場を移動しての新年会

を行いました。

初稽古については、現役・OB等31名が参加しました。監督の田中利明先生が見守る中、礼に始まり、準備運動や寝技・立ち技それぞれの打ち込み・乱取りを行っていきました。途中、OBが現役部員に技の指導を行う様子も見られました。

続いて、恒例となっている現役・OBの対抗戦が行われました。今年は現役柔道部員6名に加え、稽古に自主参加していた中・高校生の4名を含む10名のチームに対し、OBが対戦していく形式となりました。結果は、21戦して現役・自主参加者チームがOBチームから4勝(うち、現役柔道部員は6名で13戦して2勝)を挙

げ、大健闘でした。最後は礼に終わり、気持ちの良い初稽古をすることができました。

新年会については、今年は高崎市役所21階展望レストランアトマルシェを会場として、53期から111期まで、29名の参加にて大変和やかに行われました。高崎高校柔道部OB会 鳥居吉二会長(73期)の挨拶があり、新年会に出席したOBがそれぞれ近況報告を行うなど、互いの親交をより深め合うことができました。



剣道部

瀧野 修司
(86期)

剣道部のOB会として例年行っている活動の第一は、現役の高校剣道部の援助です。夏・春の合宿の際には、十分な額ではありませんが合宿援助を行い、それと共に、高段者や大学生らOBによる稽古会を催すことで、現役高校生の技量の向上を図っています。稽古会は夏・春の合宿の夜と正月3日の午後に行い、今年の新年稽古には元顧問の別府重龍先生、渡辺正一先生を初め、大学生も含めた27名のOBが剣を交え、現役部員に指導しながら、OB同士の互角稽古によって交流を深めました。

OBの中には、県内外の剣道界で活躍されている先輩が何人もおり、お互いの近況報告や昇段審査の情報なども稽古会で交わされます。また、剣道部OB会のホームページを開設し、OB会からの連絡やOBからの投稿を紹介して、交流を進める手段としています。昨年は、同志社大学剣道部監督の柳田昌彦先輩(80期)から全国教職員剣道大会において優秀選手に選考されるといふ、素晴らしい活躍の報告もありました。

高校剣道部の顧問の先生も、今年度から木村先生が異動して来られ、國富先生とともに今後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



卓球部

町田 優真
(109期)

今年のGWはスウェーデンで世界卓球の団体戦が行われました。女子は銀メダル、男子は惜しくもメダル獲得はなりませんでした、連日テレビで放映され、試合をご覧になった人も多いのではないのでしょうか。

我々高高卓球部OB会では、毎年様々な活動を行っております。昨年私は夏、冬の現役生との交流試合に参加をさせていただきました。私自身高校卒業後はOB会の活動になかなか参加できていませんでしたが、就職後職場の卓球部に所属したのをきっかけに声をかけていただき、数年前から参加しています。当日は、日々練習をしている人から数年ぶりにラケットを握った人まで多くのOBの方が集まり、予選リーグ・トーナメントと白熱した試合が繰り広げられました。また、在学中の顧問であった江原先生とも数年ぶりにお会いすることができ、近況報告など話に花を咲かせることができたのもうれしかったです。試合を通じて、現役生や幅広い年代のOBの人と交流を深めることができ、とても充実した時間を過ごせました。私が参加するようになった数年の間にも、若い年代の人も数多く参加するようになり、活気にあふれています。卓球は生涯にわたって楽しめるスポーツの一つだと思っています。また、卓球の他にも懇親会やゴルフコンペなど活動は多岐に渡っております。是非多くのOBの方に参加していただき、OB会の活動がより一層発展していくことを願っております。

日本代表でも若い年代の選手が主力となり、世界を相手に活躍をしています。現役生におかれましても、仲間や、OBとのネットワークを最大限活用し、日々の練習に励んでもらいたと思います。高崎高校卓球部の良い結果が耳に届くことを期待しております。



バスケットボール部

塚本 浩史
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。さて、毎年恒例となっている、現役とOBとのOB戦が平成29年度も平成30年1月1日に開催されました。恒例とはなっているものの、そこに集うOBは歳月を経るごとに若手のOBが増え、とても



懐かしくそして頼もしさを感じます。そして、このような機会の提供を続けることができるのは、顧問の渡部監督をはじめとする学校関係者、そして現役の父兄・ご家族の方々のご協力がいただけるからこそであり、改めて御礼申し上げます。

さて、例年ですとOB会が主催する講演会などの企画を実施し、この場でその内容をご紹介するはずでしたが、平成29年度は支援金の寄贈のみにとどまってしまいました。好評であった各方面で活躍するOBを招聘しての後援会も、招聘する講師の都合が見つからないことが多く、継続的な開催が難しい現状があります。

このような講演を企画したことは、OBだからこそできる現役への支援でありますので、新しい手法や現役にもたらされる期待される効果を鑑みて再構築を模索しております。本稿をご覧になっているOB諸兄のご意見を参考に、現役を支援する方策を検討して参りますので、変わらぬご支援を賜りたく存じます。



昨夏の甲子園大会予選において、桐生第一との初戦を大激戦の末に制した現役生ですが、残念ながら次戦で敗退してしまいました。

今年の予選も、もうすぐそこに迫っています。現役生に思い切って戦ってもらうために、我々OBもしっかりとバックアップし

ていきます。

さて、群馬県高校野球OB大会が例年通り開催されました。昨年の大会では準決勝に進出することが出来ました。結果は前橋育英高校に3-5で敗れてはしまいましたが、硬式ボールで行う試合は久々でしたので、OB一同、野球を満喫することが出来ました。今年も5月に開幕します。年々参加者も増えており、活気が出てきています。多くのOBを集め、昨年以上の成績を目指します。

また、今年はOBチームである「翠巒クラブ」が壮年クラスの県大会に出場します。好成績を収め、現役生へのいい流れを作っていきたいと思えます。



《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます。

高崎高校運動部長 新井 康司

現在の運動部活動の状況であります。所属者数は494名(1年生174名、2年生151名、3年生169名)、運動部加入率は全体で53.5%という状況であり、過去10年間で最低の加入率でありました。さらに、ここ5年間、加入率は減少する一方で、運動部の活動がままならなくなるのではと懸念しております。特に高崎の歴史とともに長年の伝統を誇るラグビー部が、昨年度末で部員が10名と、このままでは15人制の大会に出場できないまさに危機的状況でありました。

しかしながら、今年の1年生が12名入部し、危機を回避することができました。その背景にはラグビー部OB会の熱い思いがあります。昨年度より、ラグビー部OB会が部員減少という危機的状況を脱しようと様々な試みをしてきました。その取り組みの一つとして、昨年度、1年の体育授業(現2年生)において、多くのラグビー部OBの方が外部講師として来校し、球技としてのラグビーの楽しさ、醍醐味を熱心に指導してくれました。生徒も馴染みの少ない楕円形のボールに悪戦苦闘していましたが、非常に楽しく充実して活動することができました。特に現1年生には直接関係のなかったことですが、このようなOB会の熱い思いが、新入部員の

獲得に繋がったのだと思います。

今年度の高校総体では総合6位と二年連続下位入賞に甘んじておりますが、ラグビー部の部員増加や、現1年生の運動部加入率が60.4%と過去に例を見ない高い状況にあるなど、明るい兆しも出てきております。今後、各部、学校全体が一丸となって切磋琢磨し、高校総体、インターハイ予選等で素晴らしい成績が残せるようさらに精進してまいります。高崎運動部は翠巒体育会とともにあります。今後とも変わらぬ御支援、御後援賜りますようお願い申し上げます。



剣道部

小林 源輝

私達剣道部は、3年生4名、2年生8名、1年生2名の計14名で、顧問の國富先生、木村先生に加え、藤木先生を始めとしたOBの先輩方のご指導の下、日々稽古に励んでいます。

関東大会出場という目標を達成するため、毎日の稽古において、限られた時間内でいかに集中し、技の練習一つ一つの目的をいかに理解して稽古していくかが重要になっています。高崎高校剣道部全員で「正しく、強い剣道」を目指し、どの大会においても悔いの残らないように全力を尽くして試合に臨みたいと思っています。先生方やOBの方々、保護者の方々、これからは高崎高校剣道部のご指導、応援のほどよろしくお願いいたします。

めまい・補聴器・アレルギー
各種日帰り手術

清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二
(サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30

●休診日 日祝祭日・土曜日午後

<http://www.shmz-ent.com/>

高崎市京目町321-4

☎027-353-4533

**弓道部**

大森 翔貴

私たち弓道部は現在、東宮先生、森戸先生のご指導のもと、3年生13名、2年生10名、1年生13名の計36名で日々精進しています。

弓道は己との闘いであり、大会ではいかにプレッシャーに打ち勝ちいつもと同じ動きができるかが求められる極めて繊細な武道です。それ故に正しい射形を身につけ安定して弓を引くことが必要になるため、私たちは文武両道を目指す高生生の決して多いとは言えない練習時間の中で、基本に忠実かつ高効率な鍛練を積むことにより実力を伸ばしています。

昨年度は上位大会でベスト8という成績を残しましたが、これに満足している部員はおりません。夏に向けて自身の課題を発見し、技術をさらに昇華させ総体とインターハイで優勝することを強く誓います。応援よろしくお祈いします。

**ソフトテニス部**

重成 巽

私達ソフトテニス部は現在3年生5名、2年生9名、1年生9名の計23名で関東大会、インターハイに出場し、上位入賞を目指し日々練習に励んでいます。

県内の強豪校に比べると練習量で大きく差がありますが、各自が高い意識を持ち、高高らしいプレーを追求することで勝利を目指しています。

高校総体では昨年度に続き団体戦で関東大会に出場し、個人でも1ペアでも多く関東大会へと出場し、インターハイ予選につながるような結果を残したいと思います。

最後に、指導をして下さる先生方やOBの方々、私達を支えてくれる保護者の方々、そしてこのようにソフトテニスをできる環境に感謝を忘れずに全力で戦い抜くので、応援よろしくお祈いします。

**水泳部**

井尻 雅人

水泳部は顧問の山田先生のご指導のもと3年生2名、2年生4名、1年生3名の計9名で活動しています。水泳部の練習は各々がスイミングスクール又は学校のプールで行っており、個人、そして部としての目標を達成すべく、日々厳しい練習を積み重ね、レベルアップを図ってきました。

昨年度の成績として個人、リレー共に関東大会に出場を果たすとともに、400mフリーリレーでは全国大会出場を果たしました。なので、今年度の目標として、個人、リレーでの県上位入賞、関東大会出場、そして昨年度に引き続きリレーでの全国大会出場を掲げています。目標の達成を目指し、限られた時間の中で、課題を見つけては考え、克服し、力をつけていきたいと思ひます。

部員全員で団結し、結果を残していきます。応援よろしくお祈いします。

**卓球部**

工藤 龍星

卓球部は現在3年3名、2年2名、1年9名の計14人で顧問の長谷川先生や副顧問の須田先生、江原先生のご指導の下、ベスト8の壁を超えるべく日々練習を重ねています。卓球は個人競技であるので練習でどれだけ時間をかけられたか、工夫ができたかによって成果が顕著に表れるスポーツです。練習量の少ない高高では練習方法の工夫に重点を置く“頭を使った卓球”を心がけており、各部員が練習において目的意識を持ちながら練習しています。練習により少しずつですが着実に成長する自分に喜びを感じ、それが試合で「結果」として結びついてくるところに卓球の面白さの本質があると思うので、“自分自身の変化を楽しむ”こういった姿勢で日々練習に励み、相応の結果を出しています。卓球を通じ心身ともに成長できるよう奮励しますので応援よろしくお祈いします。

**ラグビー部**

坪井 望

私達ラグビー部は、3年生7名、2年生3名、1年生13名の計23名で皿山先生、川田先生、藤生先生のご指導の下、県ベスト4を目標に日々練習に励んでいます。

チームの目標としては、短い練習の中でも一人一人が集中して練習の効率を高め、勉強と部活を合わせて県内一努力をするラグビー部を目指しています。また、部員数の低下で合同チームでの大会参加など苦しい時期もありましたが、それでも応援や激励の言葉をかけてくださったOB会を始めとした多くの方々の助けもあり、七人制大会では、県準優勝という成績を残すことができました。

最後に、先生方やOB会の方々、またご転勤なされた森田先生への感謝を忘れず、チーム一丸となって全力で戦いたいと思ひます。応援よろしくお祈い致します。

**硬式野球部**

鈴木 峻

私達硬式野球部は、境原先生、井田郁浩先生、大隅先生、井上貴志先生の指導のもと、3年生16人、2年生23人、1年生19人の計58人で、高高史上初の夏の甲子園出場に向けて日々の練習に取り組んでいます。

昨秋は1回戦五回コールド負けというとても悔しい負け方をしました。大会という独特の緊張感で全く力を出せなかったため、より実戦に近い練習を増やしたり、個々の弱点を見直し、それを克服することを中心に行っています。また、グラウンド及び学校内の清掃や挨拶、返事など私生活の態度、野球に対する姿勢を見つめ直し、人間力の向上に努めています。

自分たちは弱者であり、チャレンジャーであるということをお忘れず、夏の大会を全力で戦い抜きたいと思ひます。応援宜しくお祈い致します。

テニス部OB(84期)

山口 正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!

フルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社

TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

芸大美大美術系高校 受験予備校 **高崎美術学院**
高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548
<http://www.art-takabi.com>社会人のための **アートフォーラム高崎**
美術教室
高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585
<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)

テニス部OB(91期)

原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば

高崎市倉瀬町川浦3900-156 TEL.027-378-3132

ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

**應援部**

清水 龍太郎

我々、群馬県立高崎高等学校應援部は創部以来陸拾陸代を数え、日々母校の発展の為、全力を尽くして参りました。現在、総勢十一名で活動しております。昨年度は下級生がいない中、当部の活動の幅を狭めないよう、例年と同じ様に活動させて戴きました。具体的には硬式、軟式野球部、バレーボール部などの諸運動部應援、定期戦應援、そして集会での校歌、及び翠巒の指揮が挙げられます。さて、今年度は新たに五名が入部し、当部飛躍の年です。つきましては更なる高みを目指し、部員一同精進していく所存で御座います。当部の活動は皆様にあまり馴染み深いものでは御座いませんが、誠に勝手ながら今後とも御理解と御協力を御願い申し上げます。結びに、当校そして皆様の更なる御発展を祈願させて戴き駄文では御座いますが御挨拶と致します。押忍。

**サッカー部**

瀬宮 基

私たちサッカー部は、顧問の吉田先生、副顧問の飯出先生、渡辺先生の御指導の下、3年生27人、2年生23人、1年生23人の計73人で全国・関東大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。

サッカー部では文武両道を掲げており、限られた時間の中で目標を達成するために、部員一人一人が自身の課題、チームの課題について考え自主的に練習に取り組んでいます。

今年こそは総体で関東大会へと勝ち上がり、続くインターハイで高高サッカーを存分に発揮し全国大会の切符を掴み取りたいと思います。サッカー部を支えて下さるたくさんの方々への感謝を忘れず目標へ向かって努力していきますので、今後とも高崎高校サッカー部へのご支援のほど、よろしく願いいたします。

**山岳部**

齋藤 良祐

山岳部は、顧問の井上先生、國富先生、木村先生のもと、活動を行っています。今年度は、3年生27名、2年生7名、1年生6名の計40名で日々活動しています。昨年度の総体ではメンバーの体調不良により結果を残せずに終わり県立前橋高校に昨々年度同様、優勝を譲ってしまいました。「山」という一見特異なスポーツは日頃の生活習慣や体調管理など基本的な技術や体力以外の面でも気を付けるべきということを昨年度の反省として得ることができました。知力、体力、技術力、生活力の総合競技である「山岳」で打倒前高、総体優勝を目指し精進します。

最後にこの場をお借りして、安全とは言い切れない山に私たちを送り出してくださる保護者の皆様、我々の代で特に足りなくなった備品を補っていただいたOB会の皆様、指導、計画、監督をしていただいている顧問の先生方への感謝を記したいと思います。本当に有難う御座います。今後とも応援宜しく願いします。

**スキー・スケート部**

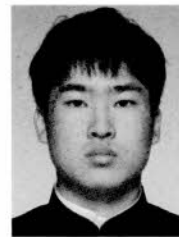
堀越 奨平

スキー・スケート部は現在2年生1名で活動しています。今シーズンの目標は、昨年よりも良い成績を残すことと、基礎的な技術の向上です。部員が1人しかいない苦しい状況ではありますが、日々の練習を重ねて、目標を達成したいと思っています。

また、高高の素晴らしい伝統を次の世代へ受け継ぐために、翠巒祭や定期戦に言われたから参加する、のではなく、しっかりとした目的を持って参加し、盛り上げていきたいと思っています。

大会が1月・2月にあることから、勉強においては不安な点多々ありますが、文武両道を成し遂げられるよう精進します。

スキー部OB会をはじめとする応援して下さる方々への感謝を忘れずに、スキー部のさらなる発展に貢献していきます。よろしくお願ひします。

**空手道部**

川嶋 多文

空手道部は現在3年生1名、1年生1名で活動しています。最近では部員が少なくなってきており、練習内容も限られていますが一人一人が高い志を持ちながら日々稽古に励んでいます。去年は部員の人数不足のため大会では個人戦のみの出場でしたが良い成績を残すことができませんでした。そのため今年は高校総体やインターハイの上位入賞を目標に、いかに効率よく練習できるかを考えていきたいと思ひます。

また、高高の伝統行事である高前定期戦の空手道部の交流試合が再び行われることを心から望んでおります。

最後にこの場を借りて忙しいなか指導して下さる顧問の先生、普段から応援してくださっている高高の空手道部OBの方々へ心から感謝の意を申し上げます。

**陸上競技部**

田巻 月雅

私たち陸上競技部は、3年生17名、2年生9名、1年生13名の計39名で、顧問の新井先生と副顧問の萩原先生のご指導の下、活動しています。

今シーズンの目標は、個人・マイルリレーでのインターハイ、関東駅伝への出場です。ですが、インターハイという舞台へは簡単に行けるものではありません、たとえ日本一練習してもです。そのため私たちは高々らしく頭を使って練習しています。常識を疑い、必要な量を質を高く、正しい動作とは何なのか、自分の求める動作に近づけるためにはどうするかを日々の練習で追求し続けています。また、練習面以外ではグラウンド整備や道具の準備、片付けを下級生だけに任せずに上級生も率先してすることにしていきます。そのような中で私たちは学年全体の仲が良くチーム高高の一員であると皆、自信を持っています。これからも私たちを支えてくださる多くの人々への感謝を忘れず、頑張っていきます。

目指せ!
全国制覇

チャレンジ

高崎高校
ソフトテニス部

ソフトテニス部OB会 会長 丸山 博(68期)



テニス部

布施 敦也

僕たちテニス部は顧問の岡田先生、副顧問の一場先生、中川先生の御指導のもと、3年生9人、2年生17人、1年生4人の計30人で活動しています。部としては団体ベスト4以上、個人としては本戦出場を目標に練習に取り組んでいます。高崎高校は高校からテニスを始めたり、軟式から硬式へ転向する人が多く、小さな頃から硬式テニスを練習している他校の強力な選手と比べると、派手なプレーは出来ませんが、高高生らしく頭を使ったり、粘り強く戦い、勝利を目指しています。

最後に、顧問の先生方の御指導、家族やOBの方々の支えに感謝して、高崎高校の代表として今まで自分たちが積み上げてきたものを信じて、一試合一試合を大切にして勝利を目指していきますので応援よろしくお願いします。



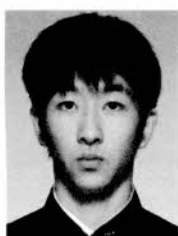
バドミントン部

横島 大樹

バドミントン部は、団体戦での関東大会出場を目標に部員30人で日々活動しています。

県内には強豪な高校がたくさんあるのですが、高高バドミントン部はほとんどがバドミントン未経験者のため、練習内容をできる限り工夫し、限られた時間の中で一人一人が技術の向上心を持って練習に取り組んでいます。また、部員同士のコミュニケーションを大切に、個人の弱点の改善や有効な戦術の共有などを考えるようにしてチーム全体のレベルアップを追求しています。

最後に日頃から部活のサポートをしてくださった先生方、保護者の方々、応援してくださる全ての人への感謝の気持ちを忘れず、そのような方々の期待を裏切らないように精一杯結果を残していきたいと思います。応援よろしくお願いします。



バレーボール部

後藤 響

私たちバレーボール部は顧問の柴山先生、林先生、剣持先生のご指導のもと、3年生7名、2年生4名、1年生13名の計24名でインターハイ出場を目標に日々練習に励んでいます。

ここ数年間思うような結果を残すことができず、悔しい思いをしてきました。なので、今年こそは目標を達成すべく、部員一人一人がバレーボールと真摯に向きあっています。県内でも身長が高くないため、私たちはサーブを自分たちの武器とし相手を崩し、自分たちのバレーボールを作れる機会を増やそうとしています。また、レシーブ面も鍛え粘り強いチームになろうと思います。

最後に、日頃から支えてくださる先生の方々、OBの方々、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、結果で恩返しができるよう頑張りますので応援宜しくお願いします。



軟式野球部

佐藤 敦也

私達軟式野球部は3年生6名、2年生5名、1年生14名の計25名で春季大会県大会優勝・関東大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

昨秋の大会ではすでに夏の大会から1・2年生主体のチームである館林高校との一回戦で奮戦するも4対1で敗北してしまいました。この結果を受けて今までの先輩達の考えた練習ではなく今の自分達に足りない部分を伸ばすための練習方法を考え、さらに数々の強豪校との練習試合で相手校の強い理由や自分達が見習うべきことを学んできました。そして厳しい冬の練習、エース兼キャプテンの突然の引退、大量の課題などの困難を乗り越え身体的にも精神的にも昨年の秋とは比べものにならない程成長しました。目標を達成するために精一杯戦いますので応援のほどお待ちしております。



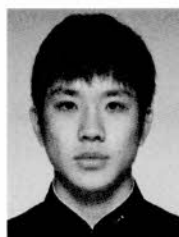
柔道部

湯本 祥伍

私達柔道部は、田中先生、栗原先生のご指導の下、3年生3名、2年生3名、1年生5名の計11名で、関東大会での勝利とインターハイ出場を目標に、日々練習に励んでいます。私達が目標を

達成するためには、練習時間を十分に確保することが出来る他校とは異なり、限られた短い練習時間の中で、どれだけ頭を使い練習を行えるか、どれだけ集中して練習を行えるかが重要であると考えています。そのため、部員同士で話し合いをして練習メニューを決めたり、試合で起こり得る状況を常にイメージしながら練習を行っています。また、試合や合宿の後には、一人一人の課題や取り入れるべき技術を話し合いによって詳らかにし、練習に取り入れることで、次回の試合での更なる飛躍を狙っています。

最後に、日頃指導をして下さる先生方や支えて下さる保護者の方々、OBの方々への感謝を忘れることなく、日々努力していきます。これからも応援よろしくお願いします。



バスケットボール部

山口 達哉

私たちバスケットボール部は現在、3年生8名、2年生12名、1年生9名の計29名で渡部先生、須藤先生の御指導の下日々切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

今年度の私たちの目標は、県大会上位入賞及び上位大会出場です。また、先輩方が残した記録を上回ることも目標です。今年1月に行われた県新人大会では、第5位という結果で終わりました。そこでの壁はやはり私立高校です。しかし、練習時間が限られていることは理由になりません。いかに頭を使い、協力し合って効率よく質を上げるかが重要となってくると思います。そのために、先生や部員との間でコミュニケーションをとり、全員で目標を目指して高め合う必要があると思っています。

大会ではコートに立つ選手だけでなく、サポートや応援があつて初めて勝つことができます。置かれた環境に感謝しながら、勝利を掴んでいきます。応援よろしくお願いします。

**目指せ！
極限の自己を！！**

高崎高校 陸上競技部OB会 会長 波多野重雄(77期)

陸上競技部OB会ホームページ

<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

平成29年度運動部活動状況

硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会		
2回戦	11-10	桐一
3回戦	1-4	利根実
秋季西毛リーグ		
予選	7-0	藤工
	8-0	安総合
	13-3	高北
決勝トーナメント	4-7	健大高
秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選		
1回戦	0-11	高東
春季西毛リーグ		
予選	11-0	高工
	6-2	藤中央
	5-8	商大附
	10-1	県央
決勝トーナメント	7-10	高商
春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選		
1回戦	12-1	伊商
2回戦	1-5	常磐

バレーボール部

インターハイ予選		
2回戦	2-0	渋川
3回戦	0-2	伊勢崎
西毛地区大会		
1回戦	2-0	高東
準々決勝	2-1	県央
準決勝	2-0	農二
決勝	2-0	高北
全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選会		
2回戦	2-0	育英
3回戦	2-0	高工
準々決勝	2-0	桐生
準決勝	0-2	前商
新人大会		
3回戦	2-0	高北
準々決勝	2-0	館商工
準決勝	0-2	伊勢崎

空手道部

インターハイ予選		
個人形	川嶋多文	1回戦敗退
個人組手	川嶋多文	2回戦敗退
新人大会		
個人形	川嶋多文	2回戦敗退
※部員1名のため団体戦出場ナシ		

水泳部

関東大会県予選会		
50m自	須田大輝	1位
"	井尻雅人	3位
100m自	須田大輝	2位
"	中島悠太	4位
200m自	中島悠太	2位
100m背	三浦玲央	○1位
200m背	三浦玲央	○2位
100mバ	宇都宮琉也	8位
400m R	増田・井尻・中島・須田	○3位
800m R	増田・三浦・中島・須田	3位
400mメ R	増田・三浦・中島・須田	3位
(上記全種目で関東大会出場)		
(○印の種目でインターハイ出場)		
県高校総体		
50m自	須田大輝	3位
"	増田 亮	4位
"	井尻雅人	8位
100m自	須田大輝	2位
"	中島悠太	5位
200m自	中島悠太	1位
100m背	三浦玲央	1位
200m背	三浦玲央	2位

100mバ	宇都宮琉也	8位
400m R	中島・野口・増田・須田	2位
800m R	中島・三浦・増田・須田	2位
400mメ R	中島・三浦・増田・須田	1位
新人大会		
50m自	野口直央	2位
100m自	野口直央	1位

柔道部

関東大会		
《柔道競技》		
団体トーナメント1回戦	1-2	文星(栃木)
《相撲競技》		
団体予選リーグ	3-2	袖ヶ浦(茨城)
	2-3	神奈川工(神奈川)
	4-1	成城(東京)
団体決勝トーナメント1回戦	0-5	東洋大牛久(茨城)
個人軽重量級	小林 陸	第5位
インターハイ予選		
団体 準々決勝	1-3	桐一
個人 73kg級	高橋 潤	ベスト8
"	野本龍也	ベスト8
90kg級	小林 陸	ベスト8
100kg級	角田壮琉	ベスト8
一橋大学有備館杯柔道大会		
団体 決勝	5-0	海城(東京)
群馬県強化選手選考会		
60kg級	和田智輝	第5位
100kg級	湯本祥伍	第3位
新人大会		
団体 2回戦	4-1	富岡
3回戦	0-3	常磐
全国選手権予選		
団体 2回戦	○-×	渋川(2人残)
3回戦	×	前商(3人残)
個人 60kg級	和田智輝	準優勝
無差別級	湯本祥伍	第3位
千葉大学柔道大会		
団体 決勝	1-2	石岡一(茨城)
大阪大学柔道大会		
団体 決勝	3-1	大阪星光(大阪)
慶應大学杯争奪柔道大会		
60kg級	和田智輝	ベスト8
73kg級	野本龍也	ベスト8
81kg超級	湯本祥伍	第3位
東京大学七徳杯高校招待柔道大会		
団体予選リーグ	5-0	開成(東京)
	4-0	灘(兵庫)
団体決勝トーナメント1回戦	2-3	白陵(兵庫)
群馬県高等学校学年別柔道大会		
1学年 66kg級	池田陽大	ベスト8
" 81kg級	福田光治	第3位
" 100kg超級	稲村幸則	優勝
2学年	オゾエメナイケンナ大樹	ベスト8
ソフトテニス部		
関東大会		
団体 1回戦	0-2	豊南(東京)
インターハイ予選		
団体 2回戦	3-0	西邑楽
3回戦	2-1	育英
準々決勝	0-2	渋川
個人ダブルス	大澤・百澤ペア	ベスト16
夏季大会		
団体 2回戦	3-0	藤工
3回戦	2-1	高工
準々決勝	2-0	高北
準決勝	2-0	沼田
決勝	0-2	高商
個人ダブルス	大澤・百澤ペア	ベスト16
	神垣・石関ペア	ベスト16

個人シングルス	多胡郁哉	ベスト16
新人大会		
団体 2回戦	不戦勝	玉村
3回戦	3-0	中之条
準々決勝	0-2	農二
個人ダブルス	大澤・百澤ペア	ベスト8

ラグビー部

1年生大会		
(高崎・県央・高商・富岡・安総合合同チーム)		
2回戦	7-53	農二
群馬県選手権大会(全国大会県予選)		
2回戦	32-17	樹徳
準々決勝	35-45	農二
新人大会(高崎・高商合同チーム)		
1回戦	67-0	前橋
2回戦	14-12	合同D(渋川・渋工)
準々決勝	0-101	桐一
7人制大会		
2回戦	26-10	高工
準々決勝	24-12	樹徳
準決勝	32-0	伊勢崎
決勝	7-42	県央

軟式野球部

全国選手権県予選		
1回戦	13-0	桐一(7回コールド)
2回戦	8-1	太田(8回コールド)
準決勝	2-1	館林(延長10回)
決勝	1-2	高工(延長13回)
第58回秋季関東地区高等学校軟式野球大会群馬県予選会		
2回戦	1-4	館林

剣道部

インターハイ予選		
団体 2回戦	4-1	共愛
3回戦	1-1	沼田(代表戦で勝利)
4回戦	0-3	樹徳
県選手権大会		
団体 2回戦	5-0	中之条
3回戦	0-2	興陽
個人	小林	ベスト16
新人大会		
団体 2回戦	2-3	常磐

山岳部

第48回新人登山大会		
男子縦走	清水啓人(2年)	第11位

陸上競技部

関東高等学校陸上競技大会(千葉)		
4×400mR	上村・吉井・植木・田巻	予組5位
走高跳	大平海史	決12位
八種競技	今井 樹	総合8位
群馬県選手権大会(前橋)		
1500m	中林 俊	決13位
"	藤本 巧	決10位
10000m	茂原將悟	決4位
走高跳	大平海史	決7位
上記のうち2種目(1500m,10000m)で関東選手権出場権獲得		
県高校学校対抗(前橋)		
100m	上村起之	決6位
800m	西巻仁貴	決5位
1500m	藤本 巧	決5位
5000m	戸塚有輝	決7位
"	茂原將悟	決8位
110mH	松尾亮佑	決8位
3000mSC	井上湧斗	決5位
5000mW	女部田亘佑	決3位
"	廣岡 亮	決6位
4×100mR	吉井・上村・上原・田巻	決5位
4×400mR	上村・田巻・今井・植木	決3位
走高跳	大平海史	決2位
やり投	今井 樹	決8位

男子総合成績(一部校12校中)	第6位
県高校新人(前橋)	
400m	田巻月雅 決2位
〃	植木辰乃介 決7位
800m	植西柳太 決2位
1500m	中林 俊 決2位
5000mW	女部田亘佑 決4位
4×400mR	渡邊、田巻、植木、上原 決4位
走高跳	大平海史 決1位

関東高校選抜新人(駒沢)	
400m	田巻月雅 予組8位
800m	植西柳太 予組6位
1500m	中林 俊 予組6位
走高跳	大平海史 決18位

県高校駅伝 総合成績 第6位
(関東高校駅伝出場権を獲得)

関東高校駅伝 総合成績 第37位
県高校新人駅伝 総合成績 第4位

サッカー部

インターハイ予選	
4回戦	1-0 清 明
準々決	0-3 育 英
ベスト	8

高校サッカー選手権大会県予選	
4回戦	5-2 常 磐
準々決	0-2 育 英
ベスト	8

新人大会	
1回戦	7-1 商大附
2回戦	3-0 市太田
3回戦	2-1 高 商
準々決	0-3 桐 一
ベスト	8

卓球部

インターハイ予選	
団体	1回戦 0-3 桐 南
新人大会	
団体	1回戦 3-2 富 実
	2回戦 3-2 前 工
	3回戦 0-3 前 商
ベスト	16

バドミントン部

インターハイ予選	
団体	2回戦 3-0 渋 川
	3回戦 1-3 館 林
ベスト	16
新人大会	
団体	1回戦 3-0 松井田
	2回戦 1-3 樹 徳
個人	ダブルス 浅香・小野里ペア
ベスト	8

バスケットボール部

インターハイ予選	
2回戦	133- 48 館 林
3回戦	120- 43 青 翠
4回戦	66- 49 新 島
準々決	83- 67 前 南
準決勝	71- 73 前 商
第3位	

全国選手権県予選	
準々決	85-112 樹 徳
西毛地区新人大会	
2回戦	98- 79 農 二
3回戦	100- 61 富 岡
準決勝	72- 75 健大高
第3位	

新人大会	
4回戦	71- 63 勢 農
ブロック決勝	56-133 育 英
5・8位決定戦	69- 64 渋 川
	63- 61 高 商
第5位	

テニス部

インターハイ予選	
団体	1回戦 2-1 前 南
	準々決 0-3 前 橋
個人	シングルス 山岸
	赤池、大崎、堀越
ベスト	32
	64

ダブルス	赤池・山岸	ベスト	8
新人大会			
団体	2回戦 5-0 館商工		
	3回戦 3-2 伊勢崎		
準々決	0-3 新 島	ベスト	8
個人	シングルス 剣持	ベスト	32
	ダブルス 剣持・田内	ベスト	32
	米持・伊藤	ベスト	32

スキー・スケート部

第65回全日本都道府県対抗	
ショートトラック・スピードスケート競技会	
500m	丸山凛太郎 第2位
3000m	丸山凛太郎 第3位
関東高等学校スキー大会	
	堀越奨平 (SL/GS出場)

弓道部

インターハイ予選	
2勝3敗	第4位
関東個人選手権県予選会	
大森翔貴 8射 6中	第10位
関東個人選手権	
大森翔貴 4射 2中	予選不通過

西毛地区大会	
団体	高崎B 36射23中 優勝
個人	北村昂大 8射 7中 第1位
	平形一樹 8射 6中 第5位
新人大会	
高崎B 48射31中	第2位

東日本大会県予選会	
団体	高崎B 優勝
個人	鈴木京介 8射 7中 第2位
東日本大会	
予選団体(5人制)	20射13中 予選通過
トーナメント1回戦	20射12中 勝利
	2回戦 20射 7中 敗北
予選団体(3人制)	12射 6中 予選不通過

県春季大会	
団体	高崎B 24射16中 第4位
個人	北村昂大 8射 7中 第3位
	大森翔貴 8射 7中 第5位

第53回高校総体 (平成30年) 男子総合6位

バレーボール部

3回戦	2-0 高 北
準々決	2-0 県 央
準決勝	2-0 前 商
決勝	0-2 桐 商
準優勝	
(関東大会出場)	

ソフトテニス部

団体	2回戦 3-0 新田暁
	3回戦 2-0 桐 生
準々決	0-2 前 商
ベスト	8

バドミントン部

団体	2回戦 2-0 前 工
	3回戦 0-2 桐 商
ベスト	16

サッカー部

1回戦	3-1 館 林
2回戦	3-0 桐 工
3回戦	2-3 高 商
ベスト	16

バスケットボール部

1回戦	107-33 玉 村
2回戦	118-50 利根実
3回戦	94-87 伊 工

準々決 72-92 太 田 ベスト 8

山岳部

神宮、榎本、木村、小野沢 第4位
(関東大会出場)

空手道部

団体 不出場
個人 上位進出ナシ

剣道部

団体 2回戦 3-0 安総合
3回戦 0-5 前 橋 ベスト16

弓道部

団体(北村、中曾根、鈴木、大森)48射28中 第8位

テニス部

団体 2回戦 2-1 四ツ葉
3回戦 1-2 高 東 ベスト16

軟式野球部

1回戦 0-6 高 商

卓球部

団体 1回戦 3-1 藤 工
2回戦 0-3 伊 商

ラグビー部

7人制の部
予選リーグ 29- 5 興 陽
12-12 合同A(前工・桐生) 予1位
決勝 29-12 渋 川 優勝

柔道部

《柔道競技》
団体 2回戦 4-0 太 田
準々決 0-1 前 商
敗復1回戦 5-0 伊 工
敗復2回戦 4-1 沼 田
5・6位決戦 2-1 高 商 第5位
(関東大会出場)

《相撲競技》

団体決勝リーグ 4-1 沼 田
5-0 青 翠
3-2 太 工
2-3 樹 徳 準優勝
(関東大会出場)

個人 見友詞勝 第3位
稲村幸則 第3位
湯本祥伍 第5位
角田壮琉 第5位
神戸太陽 第5位
福田光治 ベスト16
オゾエメナイケンナ大樹 ベスト16
和田智輝 ベスト16
佐谷戸恒太 ベスト16
池田陽大 ベスト16
野本龍也 ベスト16
(上記11名関東大会出場)

陸上競技部

400m 植木辰乃介 第6位
3000mSC 井上湧斗 第5位
5000mW 女部田亘佑 第4位
4×400mR 渡邊泰地、植西柳太

植木辰乃介、田巻月雅 第5位
走高跳 大平海史 第1位
(上記種目で関東大会出場)

男子総合成績 第13位

翠巒体育会役員名簿

(平成 30. 6. 21)

役職	氏名	期	運動部名
会長	大田部 功	85	ラグビー
副会長	清野 哲雄	74	サッカー
〃	田口 恵一	74	ソフトテニス
〃	山岸 祐二	79	水 泳
〃	仲澤 賢一	86	バスケットボール
〃	清水 威	85	硬式野球
〃	橋爪 洋介	85	卓 球
〃	滝野 修司	86	剣 道
〃	甲斐 俊輔	87	陸上競技
〃	井野 周平	91	ラグビー
〃(会計編集委員)	吉井 章一	78	山 岳
〃(編集局長)	志田 登	82	柔 道
〃(編集委員)	北村 真行	85	テ ニ ス
〃(事務局)	櫻井 健一	87	応 援
〃(事務局)	坂本 弘	87	バレーボール
〃(事務局)	横田 裕正	92	スキー・スケート
監 査	秋山 賢治	74	応 援
〃	波多野重雄	77	陸上競技
顧 問	國峯善次郎	50	サッカー
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール
〃	山口 正敏	58	卓 球
〃	高橋 浩生	78	バレーボール
理事(情報部長)	堤 康高	71	卓 球
〃(会 計)	清水 元	91	硬式野球
理 事	原 到	78	バレーボール
〃	高橋 孝史	97	〃
〃	塚越 英男	91	剣 道

役職	氏名	期	運動部名
理 事	萩原 克明	93	剣 道
〃	庭田登志男	68	柔 道
〃	鳥居 吉二	73	〃
〃	永井 正樹	80	陸上競技
〃	中村 信勝	81	〃
〃	石橋 修	90	〃
〃	今村 孝之	80	ラグビー
〃	黒石 康暢	81	〃
〃	表野 真拡	83	〃
〃	黒田 和宏	99	〃
〃	永尾 俊弘	70	水 泳
〃	斉藤 全賢	75	〃
〃	伊藤 祐司	75	〃
〃	須藤 聡	78	〃
〃	羽鳥 広平	104	卓 球
〃	高橋 秀仁	107	〃
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス
〃	石田 和久	75	〃
〃	浦野 克彦	78	〃
〃	富田 和弘	85	応 援
〃	佐藤 英樹	92	〃
〃	武藤 康秀	106	〃
〃	國峯 賢一	74	サッカー
〃	安藤 英彦	86	〃
〃	佐藤 雄一	97	〃
〃	小林 均	77	硬式野球
〃	堀込 貴	84	〃

役職	氏名	期	運動部名
理 事	赤澤 正喜	84	硬式野球
〃	田中 正宏	79	バスケットボール
〃	北嶋 聡二	87	〃
〃	鈴木 徹也	88	〃
〃	小澤 朋克	99	〃
〃	松本 基志	77	山 岳
〃	須川 光一	79	〃
〃	齋藤 英敏	83	テ ニ ス
〃	長谷川泰三	83	〃
〃	松本 潔志	85	〃
〃	神保 裕之	83	スキー・スケート
〃	佐藤 雄一	86	〃
〃	沼野 藤雅	89	〃
理事(編集委員)	根岸 強	87	サッカー
〃	茂原 賢三	89	陸上競技
〃	伊藤俊一郎	92	柔 道
〃	武山 雄海	102	バレーボール
編 集 委 員	新藤 洋一	81	水 泳
〃	藤井 正弘	81	応 援
〃	芳賀 弘幸	81	ラグビー
〃	木村 晴彦	87	ソフトテニス
〃	戸澤 健	92	硬式野球
〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート
〃	角岡 大悟	96	剣 道
〃	塚本 浩史	99	バスケットボール
〃	宮原文太郎	111	卓 球
事務局 長	境原 尚樹	81	硬式野球
事 務 局	柴山 俊広	103	バレーボール

学校側顧問			
校 長	加藤 聡		
副 校 長	丸山 正		
事 務 長	富澤 昌久		
運 動 部 長	新井 康司		
硬式野球	境原 尚樹・井田 郁浩・大隅 昭彦・井上 貴志		
ラグビー	皿山 倫義・川田 智広・藤生 揚亮		
サッカー	吉田 卓弥・渡辺 彰・飯出 得男		
陸上競技	新井 康司・萩原 克明・工藤 洋平		
水 泳	山田 敏行・岡田 準・中嶋 英彦		
山 岳	井上 貴智・國富 充敏・木村 拓哉		
応 援	竹内 聡・須藤 毅・岡田 一郎・西村 淳也		
ソフトテニス	徳光 尚之・北爪 紀枝・田中 みゆき		
テ ニ ス	岡田 準・中川 浩之・一場 尚子		
スキー・スケート	井上 貴志・塚越 正隆		
バスケットボール	渡部 健一郎・須藤 毅・渡辺 彰		
バレーボール	柴山 俊広・林 孝彦・剣持 幸夫		
卓 球	長谷川 忠史・江原 悠一・須田 響二		
剣 道	國富 充敏・木村 拓哉		
柔 道	田中 利明・栗原 俊夫		
弓 道	東宮 英文・森戸 麻子		
空 手 道	遠山 聡・池永 真孝		
軟式野球	田島 悦男・沼野 隆・大久保 泰希		
バドミントン	市川 高幸・星野 貴紀		



OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
ソフトテニス部OB会	丸山 博	68
剣道部OB会	藤木 正行	69
水泳部OB会	永尾 俊弘	70
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
サッカー部OB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
陸上競技部OB会	波多野重雄	77
山岳部OB会	松本 基志	77
バレーボール部OB会	原 到	78
ラグビー部OB会	黒石 康暢	81
テニス部OB会	林 正和	81
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
バスケットボール部OB会	仲澤 賢一	86

◎ [櫻井・応援部・87期]

◎ 会報37号を発行することができました。私が翠巒体育会に関わってからはほんの数年ですが、何度かの編集会議を重ねる中、諸先輩方から翠巒体育会の歴史を知る機会が多くなりました。会報の記事になる高崎高校OBの活躍と、現役生の活躍を読むと、自分ももっと頑張らなければと、活力が湧いてきます。

◎ また、この翠巒体育会という組織については、高校の部活で

◎ OB会はあるものの、他の部のOB会と連合した組織は全国的に

も珍しい存在です。この翠巒体育会がある事で、現役生への支援や学校への協力体制、他の部との交流、各運動部の顧問の先生とのコミュニケーションも可能です。編集にかかわる中で、創設から40年以上も続いてきたこの翠巒体育会の一員であることに感謝し、高崎の現役生や各部のOB会発展の為に少しでも貢献できればと思いました。

◎ ご活躍されているOB、現役生の様子を次号でも同窓生、現役生の皆様にお伝えできるように準備を進めて参ります。